

小児感染症の第34週(平成24年8月20日から平成24年8月26日)の集計結果

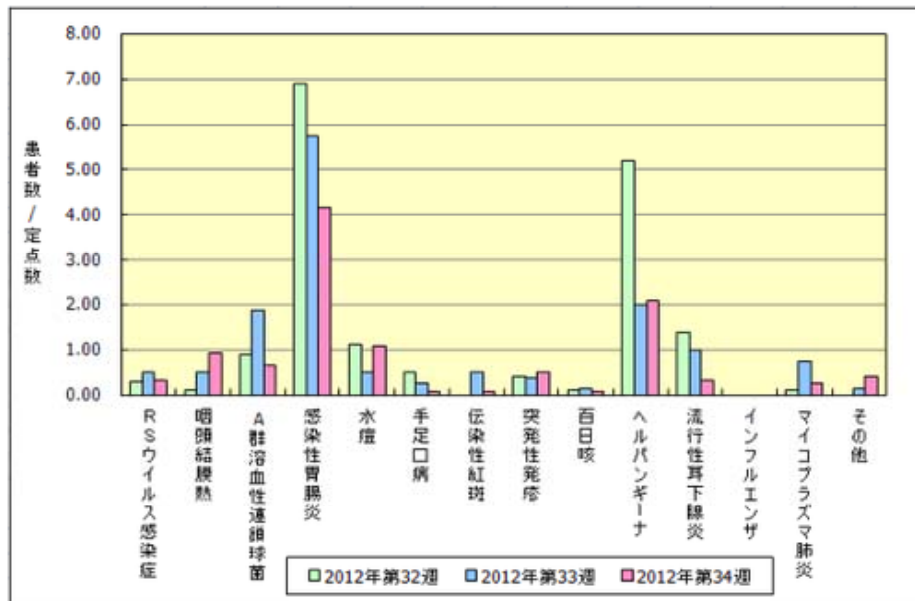
コメント

【今週の傾向】 今週は12点からの報告です。

○ヘルパンギーナは定点あたり2.1減少していますが、依然警報レベル(終息基準値2.0未満)となっています。

○また咽頭結膜熱が西部で定点あたり1.5(警報レベル3.0)となっています。

○ヘルパンギーナや咽頭結膜熱は、夏場に流行する感染症です。咳エチケットや手洗いを心がけて下さい。



第34週疾患毎発生状況グラフ

	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年				
	第29週	第30週	第31週	第32週	第33週	第34週	中央北部	西部	東南部	みなみ野
RSウイルス感染症	3→	6↑	5↓	3↓	4↑	4→	4	0	0	0
咽頭結膜熱	9→	7↓	5↓	1↓	4↑	11↑	1	6	4	0
A群溶血性連鎖球菌	25↓	39↑	20↓	9↓	15↑	8↓	3	4	1	0
感染性胃腸炎	106↓	117↑	98↓	69↓	46↓	50↑	34	8	8	0
水痘	10↓	13↑	8↓	11↑	4↓	13↑	3	2	8	0
手足口病	9↓	9→	11↑	5↓	2↓	1↓	1	0	0	0
伝染性紅斑	1↓	0↓	3↑	0↓	4↑	1↓	0	0	1	0
突発性発疹	12→	11↓	11→	4↓	3↓	6↑	0	3	2	1
百日咳	2↑	0↓	2↑	1↓	1→	1→	0	1	0	0
ヘルパンギーナ	199↑	191↓	116↓	52↓	16↓	25↑	0	9	12	4
流行性耳下腺炎	13↑	10↓	11↑	14↑	8↓	4↓	1	2	1	0
インフルエンザ	0→	0→	0→	0→	0→	0→	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	6↓	7↑	5↓	1↓	6↑	3↓	1	2	0	0
その他	5↓	8↑	6↓	3↓	5↑	9↑	5	0	4	0

第34週疾患毎発生状況表

第34週	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性耳下 腺炎	インフルエ ンザ	マイコプラ ズマ肺炎	その他
～5ヶ月	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
～11ヶ月	2	0	0	10	0	0	0	4	0	1	0	0	0	0
1歳	1	1	0	11	0	0	0	1	0	3	0	0	0	1
2歳	0	1	0	4	2	0	0	1	0	6	0	0	0	1
3歳	0	2	1	0	2	0	1	0	0	4	1	0	0	0
4歳	0	3	2	7	2	1	0	0	0	3	0	0	0	0
5歳	0	1	2	4	5	0	0	0	0	4	0	0	0	1
6歳	0	2	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
7歳	0	0	0	5	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
8歳	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9歳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0
10～14歳	0	0	0	4	1	0	0	0	0	2	0	0	2	0
10～12歳												0		
13～14歳												0		
15～19歳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳以上	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
合計	4	11	8	50	13	1	1	6	1	25	4	0	3	5

第34週年齢別発生状況表

地区ブロックの分け方

- 中央・北部
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- 西部
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- 東南部
由木東事務所、南大沢事務所管内
- みなみ野
由井事務所